

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

放射線科 大庭 建

【研究責任者】

聖路加国際病院 放射線科 大庭 建

乳房のX線検査（マンモグラフィ）を受けられた方を対象とした被ばく量の左右差と乳癌存在および広がりとの関連に関する研究

1.研究の対象

2013年1月1日～2015年12月31日の期間に聖路加国際病院で乳房のマンモグラフィを受けられた方

2.研究の目的・方法

マンモグラフィは検診や病院における乳癌の精密検査で広く利用されています。マンモグラフィは放射線の被ばくを伴う検査であり、検査時に乳房の被ばく量も同時に記録しています。以前からこの乳房の被ばく量と病変の有無や病変の大きさには関連があると考えられていました。しかしそれを確認した研究や具体的な被ばく量の数値を提示した研究はありません。今回の研究では乳房の被ばく量との関連、関連があった場合にはその具体的な基準を研究します。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

マンモグラフィ画像と被ばく量を含めた撮影条件のデータ

生検/手術後の病理の所見

カルテ番号、生年月日、等